※※

上向台小だより

９月号
西東京市立上向台小学校
令和８年９月１日

http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai

※※

データで見る上向台小の子どもたち
～子どもたちの強みを　未来の力に！～

校長　酒見　裕子

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休みならではの貴重な経験が、子どもたちに豊かな学びをもたらしたことと思います。各御家庭での御支援に感謝申し上げます。

さて、４月に第６学年の児童が実施した「令和８年度　全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の学校目標と照らし合わせながら、結果について御報告いたします。

１　デジタル学習基盤が支える「生き抜くかしこさ」

本校の国語・算数の平均正答率は、いずれも全国平均を上回る良好な結果を収めました。

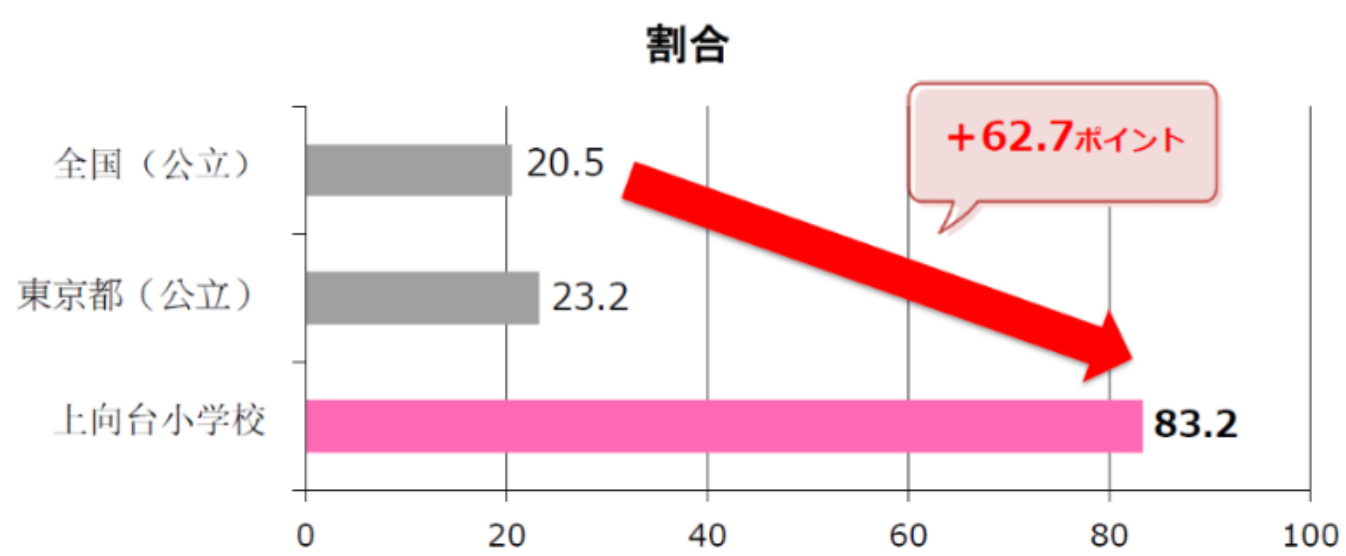
	本校平均正答率	全国平均正答率
国語	63%	60.9%
算数	59%	56.4%

本校では、デジタル学習基盤を活用した高次の資質・能力の向上に取り組んでいます。

ICT 機器については、授業で**「ほぼ毎日活用している」**と回答した児童が **83.2%**に上り、全国平均（20.5%）に比べて **62.7 ポイント高い結果**でした。

５年生までに受けた授業でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか（質問35）

☑ **ほぼ毎日（複数の授業で活用）と回答した児童の割合**



◎**ICT機器の授業での使用頻度**が高く、他地域と比較して非常に進んでいる

また、端末を単なる検索ツールにとどめず、プレゼンテーション作成や文章作成、総合的な学習の時間での情報収集や整理、発表においても活用するなど、自らの考えを表現・発信する道具として、日常的に使いこなしています。

また、国語の**「書くこと」**の領域では、特に、「集めた**情報から引用して自分の考えが伝わるように書く**」記述問題では、48.0%と、全国平均（33.5%）を **14 ポイント以上**上回りました。

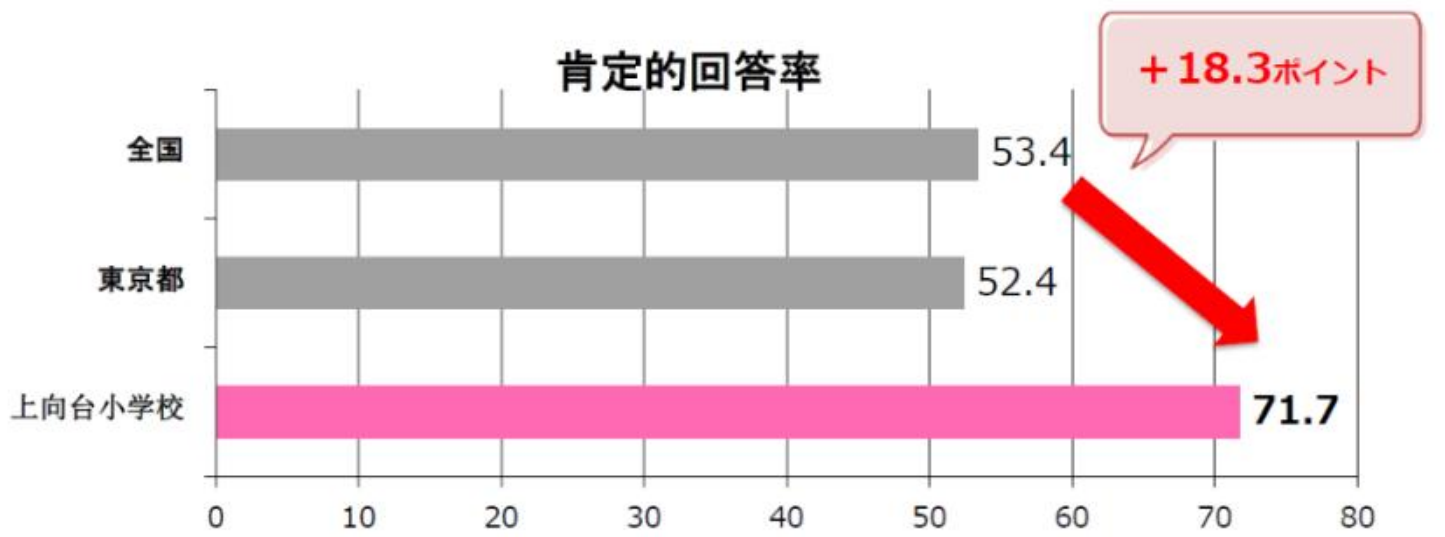
日頃から本校で大切にしている自分の考えを整理してアウトプットする学びが、この成果に結び付いていると考えています。

２　心理的に安全な学校風土が育む「人にやさしさ」

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に「当てはまる」と答えた児童は **71.3%**にのぼり、全国平均（53.4%）を **18.3 ポイント上回り**ました。

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（質問９）

☑ **当てはまると回答した児童の割合**



◎**教員からの承認**を強く感じている児童が多い。

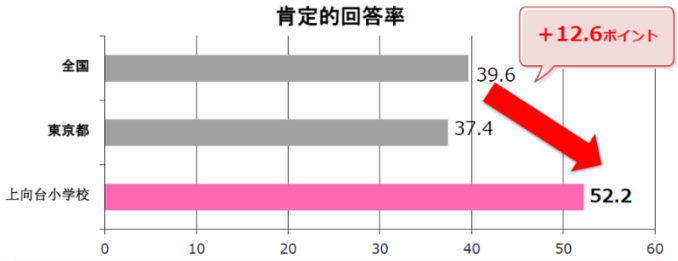
子ども一人一人のよさや成長を、教師が丁寧に認め、次への意欲に繋げるかかわりが本校の強みの一つになっています。

また、「学級で人と**違う意見を言っても否定されない**」と答えた児童は 52.2%と、全国平均（39.6%）を **12.6 ポイント**上回っています。

一人一人の考えが大切にされ、互いの違いを認め合える学級の雰囲気があるからこそ、子どもたちは失敗を恐れずに自分の考えを発表したり、のびのびと文章で表現したりすることができるのだと考えます。

あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか（質問20）

✅ 当てはまると回答した児童の割合



◎安心して意見を言える学級風土が育っている

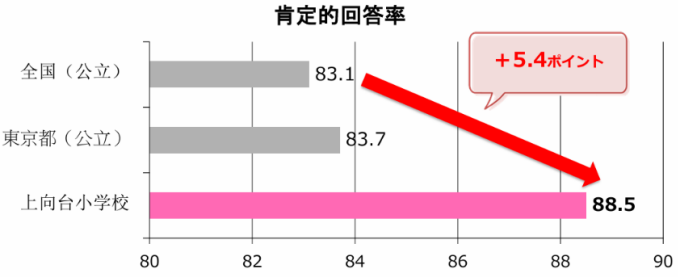
3　最後までやり抜く姿勢に表れる「自分につよさ」

国語・算数いずれの調査においても、多くの児童が「解答を文章で書く全ての問題について、**最後まであきらめずに書こうと努力した**」と解答しました。「分からないから書かない」のではなく、自分の「つよさ」を信じて、粘り強く問題に向き合う姿勢は、本校が最も誇るべき児童の姿です。

また、**朝食を毎日食べる児童**や、**毎日同じ時刻に起きる児童**の割合も全国や都の平均より高く、心と体を整える生活の基盤も御家庭の支えにより、しっかりと育っていることが分かります。

朝食を毎日食べていますか（質問1）

✅ している と回答した児童の割合



✅ 規則正しい生活習慣が保たれている。

4　保護者の皆様へのお願い

今年度の調査では、子どもたちの「将来への関心・意欲」や「他者とのかかわり・相談」に関する指標に、全国平均を下回る課題が見られました。子どもたちがより前向きに、安心して成長できるよう、保護者の皆様にも、以下の点を御協力いただければ幸いです。

①小さな困りごとに寄り添い、日常的な対話を！

「**学校での悩みについて、親や家族と『ほぼ毎日』話す**」割合が 9%（全国平均 14.7%）と、全国よりも５ポイント下回りました。

子どもたちは時に言葉にできない不安を抱えていることもあります。「最近、学校で楽しかったことは何？」、「困っていることはない？」など、日頃から些細な会話を意識的に増やしていただき、御家庭がいつでも本音を吐き出せる安全な場所であることを実感させてあげてください。

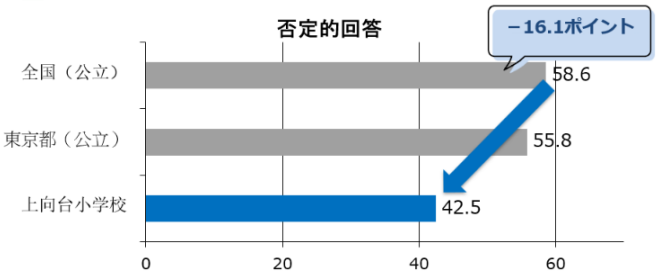
学校と御家庭が密に連携し、**子どもたちの小さなサインを見逃さず支え合っていきたい**と考えております。

②将来の夢や目標を語り合う時間を！

本校の児童で「**将来の夢や目標を持っている**」と答えた割合は 42.5%にとどまり、全国平均（58.6%）を **16.1 ポイント**下回っています。また、英語に対する興味・関心や、将来に学習を生かそうとする意欲も低めです。

将来の夢や目標を持っていますか（質問10）

✅ 当てはまると 回答した児童の割合



✅ 将来の夢や目標を持っている児童の割合が低い

夢や目標は、日々の学びに向かう大きな原動力となります。学校でも、今学んでいることが、将来や社会とどのように繋がっているのかを実感できる学習活動を、引き続き大切にしてまいります。

ぜひ、御家庭でも、「将来どんなことをしてみたい？」、「どんな大人になりたい？」など、未来について気軽に語り合ってみてください。**身近な大人の仕事について話したり、日常の学びが社会の中でどのように生かされているのかを伝えたりする**ことが、子どもたちの視野を広げ、自分の未来を思い描くきっかけになると考えます。

子どもたちが安心して自分のよさや可能性を伸ばし、夢や目標を育んでいくためには、学校と御家庭が共にその成長を支えていくことが大切です。

本校の子どもたちには、**最後まであきらめずに挑戦するすばらしい力**があります。その力を土台に、一人一人が自分のよさを伸ばし、自信をもって、未来へ羽ばたいていけるよう、今後も、保護者や地域の皆様と力を合わせて支えてまいります。引き続き、御理解・御協力の程、よろしくお願いいたします。